



日本の風呂屋さんについて

アンガ ウィジャヤ
ANGGA WIJAYA

日本に来て、埼玉県の研修生トレーニングセンターで、初めてお風呂に入りました。インドネシアでは、皆でシャワーをあびる習慣がないので、最初ははずかしかったです。インドネシアでは、お風呂につかる習慣もないので、熱いお風呂に長くつかると、あがる時に頭が痛くなって、体が少しだるく感じました。大きな湯船がプールに見えて、おもしろそうと思いましたが、結局熱くてすぐにお風呂からあがりました。私には、なぜ日本人が毎日熱い大きなプール入るのかわかりませんでした。

今は、大阪でマルワ商店と言う会社で研修しています。この会社はくつの底を作っています。私はくつの底を塗装しています。毎日仕事で疲れて、顔に疲れが出ていたから、会社のおじさんに「体が疲れていたらお風呂屋さんに行ったら疲れがとれるよ」と言われました。おじさんにお風呂屋さんの話を聞いたので、その日は仕事が終わってから、近くのお風呂屋さんに行きました。ここで初めて日本人と一緒にお風呂に入り、文化のちがいを感じました。私は体を洗う時、手にせっけんをつけて洗いますが、日本人はタオルで体を洗っていました。インドネシア人は朝と夜二回シャワーをあびますが、日本人は一回しか入らないので、タオルできれいに洗うのかな？と思いました。それから、お風呂の中にジェットバスがありますし、外のお風呂もあります。外のお風呂は露天風呂とよばれていて、中のお風呂より露天風呂のほうが外の空気があるので長くつかれます。やはり体が疲

れている時はお風呂に入ると疲れがとれます。

今は仕事で体が疲れていたら、ぜったいお風呂屋さんに行きます。お風呂屋さんにいる時、私は外国人だと思わないで、自分が日本人みたいだと思います。なぜなら、今はお風呂屋さんの文化になれてきたからです。お風呂に入っている時、はずかしいという事ももうなくて、体を洗う時はタオルできれいに洗っています。お風呂に入ると、疲れがとれるだけでなく、頭の中もリラックスできます。その時本当に幸せを感じます。でも何度もお風呂屋さんに行っていますが、ほとんどお風呂屋さんのお客さんはおじさんばかりです。若い人はあまり見かけません。日本人の若い男の人はあまりお風呂屋さんに行きたくないのでしょうか？

もし日本の若い人がお風呂屋さんの文化を忘れていたら、残念だと思います。なぜなら外国にはお風呂屋さんはないし、お風呂屋さんは疲れがとれる場所なのに、そこに行かない若い人は残念だと思います。私は日本に在る間に、色々な文化知りましたが、この文化はおもしろくて、いつでもお風呂に入りたいし、自分にあっていると思っています。

インドネシアでシャワーをあびる習慣がありませんが、日本に来て、色々な文化について色々な事を学んで、お風呂屋さんに興味を持って、きちょうな経験ができた事をほこりに思います。日本で色々な文化を学んで、特に、お風呂屋さんの文化が大好きです。これからもお風呂屋さんにまだまだ行きます。